

ごあいさつ

私たち 3 人は新潟大学美術科の同期です。
卒業して社会人となり、離れてしまっていた創作に今一度向き合いたいと思い、
2020 年から活動しています。

今回の展覧会テーマは「窓をあける」。
日々の中でふと行うその行為には、空気を入れ替えるため、光を求めるため、
あるいは変化を望む気持ちや、新しい何かを迎え入れたいという意志が込められています。
そんな「窓をあける」という日々の小さな選択を、私たちの制作活動に重ねました。

会場の通路などに展示しているのは、三人で共同制作した作品です。
高畑が撮影した写真に、加納と手塚が加筆や加工を加えています。
「窓をあける」というテーマのもと、
それぞれの感性と表現へのアプローチの方法をみて感じていただけるシリーズです。

新しい朝に向かってあける窓、
異世界につながるような不思議な窓、
そっとそよ風を招き入れる窓、
気づけばすでに開いていた窓…

それぞれの「窓」が持つニュアンスの違いや、共通する空気感を感じていただけたら幸いです。

2025 年 9 月
三人展中庭

加納いずみ
高畑杏子
手塚千晴